



アメリカの大学入学試験 SAT 対 ACT

アメリカの高校生が4年制大学に進学する場合、ほとんどの大学が大学入学試験 (College-entrance Exam) と呼ばれる SAT (Scholastic Assessment Test) や ACT (American College Test) の試験成績の提出を要求します。

これらの試験の2008年度の実施結果が、最近発表されました。その一部を下の表にまとめました。

この結果で特徴的なのは、ACT受験者の急増です。ACTは、中西部・南部の州の高校生が多く受験してきましたが、近年、全米規模で急激に受験者数を伸ばし、SATの受験者数に追いつくところまでできました。

増加の理由としては、ミシガン州が統一試験として採用したこと、適正テストのSATより、科目の学習内容が出題されるACTの方が高校生にとって受験しやすい、などが挙げられています。来年はケンタッキー・ワイオミングの両州でも州の統一試験として採用されるので、更に受験生が増加すると予想されています。

2008年度 SAT・ACT 実施結果		
試験	SAT	ACT
受験者数	152万人	142万人
2007年度からの増加率	1.6% 増加	9.2% 増加
高校卒業生との比率	卒業生の46%	卒業生の43%
得点範囲	600～2400点 (各科目: 200～800点)	1～36点
平均得点	SAT Reasoning Test 1511点 (1610点) CR: 502点 (513点) MA: 515点 (581点) WR: 494点 (516点)	21.1点 (22.9点)
2008年度: 2007年9月～2008年6月実施分 CR: Critical Reading, MA: Mathematics, WR: Writing 平均得点の () 内は、アジア人受験生の得点		

出典: Education Week, Vol.28, No.1, August 27, 2008
Education Week, Vol.28, No.2, September 3, 2008

☆

最近、ACTを受験する日本人の高校生も増えているようです。ACTに関する質問を聞くことが多くなりました。

アメリカの大学出願では、これらの試験成績は大変重要です。どちらの試験も受験する人は、受験時期が11年生の冬から夏にかけて重なり、また両方の試験はその内容が大きく異なりますので、年間の受験計画をしっかりと立て、勉強・受験をしてください。

日本の大学の帰国子女入試を受験予定の高校生は、SATやACT (日本では「統一試験」と呼ばれています) の提出を要求する大学の数が少ないので、自分の志望校が提出を要求しているかどうかをよく調べて、受験準備をしてください。

(本誌27ページを参照してください。)

(松本)



高校卒業試験 (High School Exit Exam)

全米の23州で、高校卒業試験を実施しています。州により多少の違いはありますが、「高校卒業資格を取得するためには、この試験に必ず合格しなければならない。」と決められています。

厳しい州では、滞在年数が短く英語力の十分でない生徒 (English Learner) であっても、この試験に合格することを要求しています。また、試験内容も英語・数学・理科・社会、そのレベルも10年生以上としている州がほとんどです。

高校卒業試験を実施している州を下の表にまとめました。また、それらの州の高校卒業生の割合も、全生徒とアジア人生徒について示しました。

これらの州で学んでいる高校生の皆さんは参考にしてください。

高校卒業試験を実施している州

州	高校卒業試験		高校卒業率 (%)	
	科目	レベル	全生徒	アジア人
Alabama	EMSH	Y	61.3	—
Alaska	EM	Y	67.6	67.8
Arizona	EM	Y	73.3	88.9
Arkansas	2010年実施予定		73.2	—
California	EM	Y	70.1	84.0
Florida	EM	Y	60.8	85.6
Georgia	EMSH	Y	58.1	80.9
Idaho	EM	Y	76.6	—
Indiana	EM	—	73.6	71.5
Louisiana	EMSH	Y	54.7	49.4
Maryland	2009年実施予定		73.6	91.6
Massachusetts	EM	Y	74.7	68.8
Minnesota	EM	—	78.1	69.9
Mississippi	EMSH	Y	61.8	57.9
Nevada	EMS	Y	45.4	—
New Jersey	EM	Y	83.3	86.3
New Mexico	EMSH	—	54.1	72.6
New York	EMSH	Y	68.0	—
North Carolina	EMT	—	67.0	78.5
Ohio	EMSH	Y	75.9	78.4
Oklahoma	2012年実施予定		70.8	—
South Carolina	EM	Y	55.6	—
Tennessee	EMS	Y	65.4	—
Texas	EMSH	Y	68.5	87.6
Virginia	EMSH	Y	72.9	84.5
Washington	E	Y	68.8	75.5
全米	23州		70.6	81.3

科目: E=English, M=Mathematics, S=Science,
H=History/Social Studies, T=Technology
レベル: 10年生以上の学習内容

出典: 「Diplomas Count 2008」 Education Week, Vol.27, No.40, June 5, 2008